

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立上安小学校	校長氏名	山本 伸生	生徒指導主事氏名	朝日山 元
取組事例名		『いじめのない学級にする取組』			
取組のねらい		『支持的風土づくり』			
各学級で、いじめ防止のための取組を1ヶ月間行い、学級に支持的風土を作る。					
取組の具体的内容		『具体的なクラスの取組』			
<p>①代表委員会で計画委員会が、趣旨や内容を提案する。</p> <p>②各学級で取り組む。</p> <p>例)「ふわふわ言葉」を増やすための取組、「ちくちく言葉」を使わない、グループ遊び、クラス遊び、帰りの会での「いいところ見つけ」など</p> <p>③帰りの会や学活などで振り返る。</p> <p>④担任が観察する。(子どもの様子、学級全体の様子)</p> <p>⑤9月の終わりに各学級で取り組んだ内容と、子どもや学級の様子をまとめて計画委員に提出する。</p> <p>⑥計画委員が、給食放送で取組や結果を知らせる。</p>					
取組の課題・創意工夫		『活動をすることで変える』			
<p>1年1組 帰りの会で友達の「いいところ見つけ」をして、「いいところ見つけの木」にシールを貼り、学活の時間にクラス遊びをした。</p> <p>1年2組 「ふわふわ言葉」を使って、「虹色の木」をシールでいっぱいにしようという取組をした。</p> <p>2年生 学年全体で、いじめのない学級にするためにはどうしたらよいかを話し合い、決めたことを教室に掲示した。</p> <p>3年1組 「全員遊び」に取り組んだ。</p> <p>3年2組 帰りの会の「いいところ見つけ」のコーナーで、9月中に全員が「いいところ見つけ」で発表できるように取り組んだ。</p> <p>4年1組 一日の振り返りをするときに、友達の良いところを一人一つは見つけて言えるようにすることに取り組んだ。</p> <p>4年2組 週3回「全員遊び」をする事に取り組んだ。</p> <p>5年1組 「全員遊び」と「いいところ見つけ」に取り組んだ。</p> <p>5年2組 困っている人を助ける事と、「いいところ見つけ」をする事に取り組んだ。</p> <p>6年1組 優しい言葉を使うことと、1ヶ月に1回「お楽しみ会」をする事に取り組んだ。</p> <p>6年2組 「いいところ見つけ」と「全員遊び」に取り組んだ。</p>					
取組の成果(効果)		『信頼関係』			
<p>【児童の振り返り】</p> <p>・「いいところ見つけ」をしたことで、いいことをする人が増えた。例えば、帰りの支度の時に、水筒を進んで配ったり、掃除の時に机が倒れたら、進んで手伝ったりする人が増えた。また、クラス遊びをすることで、クラスの雰囲気良くなり、友達同士がますます仲良くなってきた。</p> <p>・「ふわふわ言葉」が増えることで、クラスの雰囲気が良くなった。しかし、反省として、最後の頃</p>					

は、「ふわふわ言葉」を使うことが目的なのに、シールを集めることが目的になっていた。これからも、他の人からしてもらったら嬉しいことをしていきたい。

・ 掲示した言葉を見たり、帰りの会で振り返りをしたりすることで、一人一人がいじめをなくすように気を付けて生活できた。これからも、続けていきたい。

・ 全員で楽しく遊ぶことで、仲良くなることができた。これからも、全員遊びを続けて行い、もっと仲良くなりたい。

・ クラスに笑顔が増えて、みんながさらに仲良くなった。

・ 前よりも、友達の良さを見つけることが出来る人が増えた。これからも、小さな事でいいから、しっかり見つけていきたい。

・ クラスみんなの「きずな」が深まり、いじめが少なくなった。

・ クラス全体がまとまり、一人ひとりの良いところを改めて理解することができた。

・ 友達のことを考えて行動出来るようになり、自分の知らないことを友達に教えてもらうことが増えた。

・ 優しい言葉を使うことにより、クラスの雰囲気が良くなってきた。また、月に1回「お楽しみ会」を計画することで、みんなで協力したり、友達とのきずなを深めることができた。

・ どんな場面でも、男女関係なく発表できるようになった。

今 後 の 展 開 『継続的に』

・ 今回の経験を生かして、今後も、各クラスで全員遊びや「いいところ見つけ」を継続的に行い、いじめのない学級（学校）をつくる。

他校へのアドバイス 『子どもの声から』

・ 児童会から提案する形をとること。

・ 最初は、1ヶ月間限定で行うこと。

・ 1ヶ月後に、各クラスの学級会で総括すること。

・ 給食放送で、各クラスの取組を紹介すること。